

令和元年度（2019年度）第1回 特別史跡熊本城跡保存活用委員会 委員意見[当日回答保留分]と今後の対応（案）

資料1

■日時 2019年5月31日（金）10：00～12：20

■場所 教育センター3階 第1研修室

■出席者 伊東（龍）委員長・伊東（麗）委員・今村委員・河島委員・坂本委員・永田委員・西嶋委員・廣瀬委員・松田委員・毛利委員・山尾委員・山田委員
（計12名） ※服部委員は欠席

【千葉城地区について】

委員	2019.5.31 委員意見	◇今後の対応（案）[当日回答保留分のみ]
西嶋委員	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会ではいつも財源の説明が出てこない。財源的な理由で箱モノありきの話になっているようにも思える。熊本城には市民や経済界から金銭面にも注ぎ込まれているので台所事情も含めて説明すべき。 ・「グランドデザイン2050」アクションチーム①では、公共空間・パブリックスペースの創出と建物更新への規制緩和が両輪で議論が始められているが、熊本城職員は入っていない。熊本の景観条例は熊本城がベースなので会議に入って検討すべき。 ・委員会の構成については、突っ込んだ議論がしにくい構成になっている。いくつかのテーマに絞り、小委員会なり外部の有識者を入れるなり、組織見直しの検討を。他の地域の事例に詳しい方もいる。 	<p>◇資料4（土地取得及び整備の財源について）</p> <p>◇開催回数の増加・時間の延長・文化庁（整備部門）調査官の委員会出席など</p>
廣瀬委員	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本城は海外からの観光客がかなり少ない。海外に対してのアピールが足りない。インバウンド効果が言われているので、ワンストップで日本（ジャパン）を体験いただく施設・スペースを設けてほしい。 ・観光客から熊本城を周った後で「1時間で行けるところ」を聞かれわくわく座を案内したが、「一度行ったから他に」と聞かれた。箱モノという話があったが、例えばJT跡地あたりに施設があると良い。 	◇資料3（ガイドンス施設について）
毛利委員	<ul style="list-style-type: none"> ・NHK跡地には「千葉城横穴」「抜け道」など遺構を整備してほしい。観光資源を活かした計画を作成してほしい。 ・事務局の説明では、追加指定の予定地に歴史的事実に基づかない管理事務施設を建てようとしている。「特別史跡の中にはだめだ、だめだ」「歴史的事実に基づいたものを整備する」というこれまでのあり方に全く矛盾しており、ルール違反である。これはとてもおかしい。管理事務施設がどうしても必要なら、特別史跡外に分散している施設を統廃合して、1～2ヶ所に集約して建てるべきだ。再検討を。 	<p>◇資料5（「千葉城」の歴史）</p> <p>◇検討中（管理施設・調査研究施設の現状について）</p>
河島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・管理施設の場所は、三の丸駐車場が広いので三の丸駐車場に移動してでも事務所を建てるのが良い。 ・NHK跡地には中世城の跡地として活用してもらいたい。中世城の多くは山の中にあるが、千葉城跡は市街地に面しており珍しい。30～40年かけても全体を見極めた復旧を。 	<p>◇検討中（特別史跡内外の利用状況について）</p> <p>◇資料5（「千葉城」の歴史）</p>

坂本 委員	・せっかくアンケートをしたので、その結果を充分活かしていければと思う。	◇資料2 (アンケート結果の分析)
山尾 委員	・アンケートは城に来た人だけでなく、城に来ていない人や、県内の文化財関係者にも聞いてほしい。	◇今後機会を捉えて、県内の文化財関係者に対するアンケートも実施したい。
山田 委員	・腰を据えて調査研究をして情報発信する施設は何かしら必要と思う。熊本城総合事務所と熊本城調査研究センターが移転・移転で落ち着かない状況というのは、望ましくないのではないか。 ・どこに建てるかは難しい問題だが、腰を据えてきちんと仕事ができるような体制は必要。そこに展示スペースを作りガイダンス施設として機能させるのが一番良いと思うが、城彩苑がそれを担う役割だったと思うので差別化が必要。回遊は公共交通機関の利便性の問題もあり、私の職場も含め、難しい。	◇検討中(管理施設・調査研究施設の現状について) ◇資料3 (ガイダンス施設について)

【特別公開について】

委員	2019.5.31 委員意見	◇今後の対応(案) [当日回答保留分のみ]
松田 委員	・観覧者が多いということで入場規制があるということだが、団体の事前予約制はないのか。ツアーで行っても中に入れなくなると、旅程保証でペナルティが発生する。リスクがあると企画できない。2000人のうち500人を団体予約に割くなどの事前予約枠を作り、団体を確保できれば、パンフレットにも記載できる。ツアーを企画し、入場できないとなると大問題になる。再度検討した方が良い。 ・リスクがあるのであれば、ツアーは行わない方が望ましいということを書面に挙げた方が良い。	◇資料6・7 (「特別公開」について)

【熊本城復旧取組状況について】

委員	2019.5.31 委員意見	◇今後の対応(案) [当日回答保留分のみ]
西嶋 委員	・「回遊」から「滞在」へ。駐車場の問題も「どういう城の見てもらい方」をするのか、全体像の中で移動サービスの提供を検討すべき。以前から「保存活用地域計画」を作成すべきと意見している。	◇資料6・7 (「特別公開」について)
廣瀬 委員	・シャトルバスの本数を増やしてほしい。 ・新町のファミリーマートの角のところが観光バスが曲がりにくい。今後行き来が多くなると思うので案内板を設置して手前の方で待ってもらうようにしてはどうか。	◇シャトルバス本数の件は庁内で検討中。 ◇交通系の案内板は整理する予定。